

2022  
3/24  
24日  
陸奥 344  
紅梅

# 右馬允たじま

寒中 御見舞い  
申し上げます

連日 氷点下十度の朝と

迎之 とうに正おかれ、なんて気を取っていたら、業の定凡呂場(お客様用)の水道管が破裂してしまい、大寒から立春まで同様の気をつけなくてはと反省したところ、朝の5時のにけりの鳴き声、下弦の月が庭の樹木と影絵のように浮か上からせ、暖かいお布団の中でこの美しい光景を楽しんでから起き上がります。

オミクロン株の凄まじい感染確大のニュースを横目に、今年も久美はヨガの冬期研修に16日張り切った東京に出席してまいりました。長男允は弟のお店の手伝いに、各々の冬期を充実したものにしようと願っています。

右馬允は お客様のいかに、今奥座敷にエアコンを入れたり、允の達々の願いで、厨房の大改造を始めたし……春からの営業では若い者たちが新しい右馬允を再築してくれよう祈るばかりです。

幼い頃 冬の寒さに敗けて 熊のように穴の中で春まで寝ていたとよく思っていた。新年を迎え、伊那谷は新型コロナウイルスの感染が急拡大して、大鹿村に至っては静かな時期が流れています。5つと外に出ればツェービグが群れでなにかの種を啄ばんて穏かです。私達と反子母のお世話を十分に出来ます。天の与えの下さった良い時間なんだと思います。毎食後正介は散歩に出かけ健康管理を怠らず、私は久美のレッスン(ズームを使ってスマホから)と魔女トレでトレーニング。時折村の健康運動(知は感染確大防止の為休み)をして生活リズムを整えています。読み下しと書いていた本を読み、写真の整理、繕い物位が(11回)出来上がったことと書いています。こゝから私のしたかった冬眠なんだと書いてから 毎日を楽しんでいます。